
CINGA事業のご説明

NPO法人 国際活動市民中心(CINGA)コーディネーター
新居(にい)みどり

CINGAとは・・・

<http://www.cinga.or.jp/>

NPO法人国際活動市民中心

Citizen 's Network for Global Activities ≪CINGA/シンガ≫

■特徴:外国人の支援を行う専門家集団/ネットワーク組織/中間支援組織

弁護士、行政書士、心の相談、労働相談、社会福祉士、社会保険労務士、通訳者

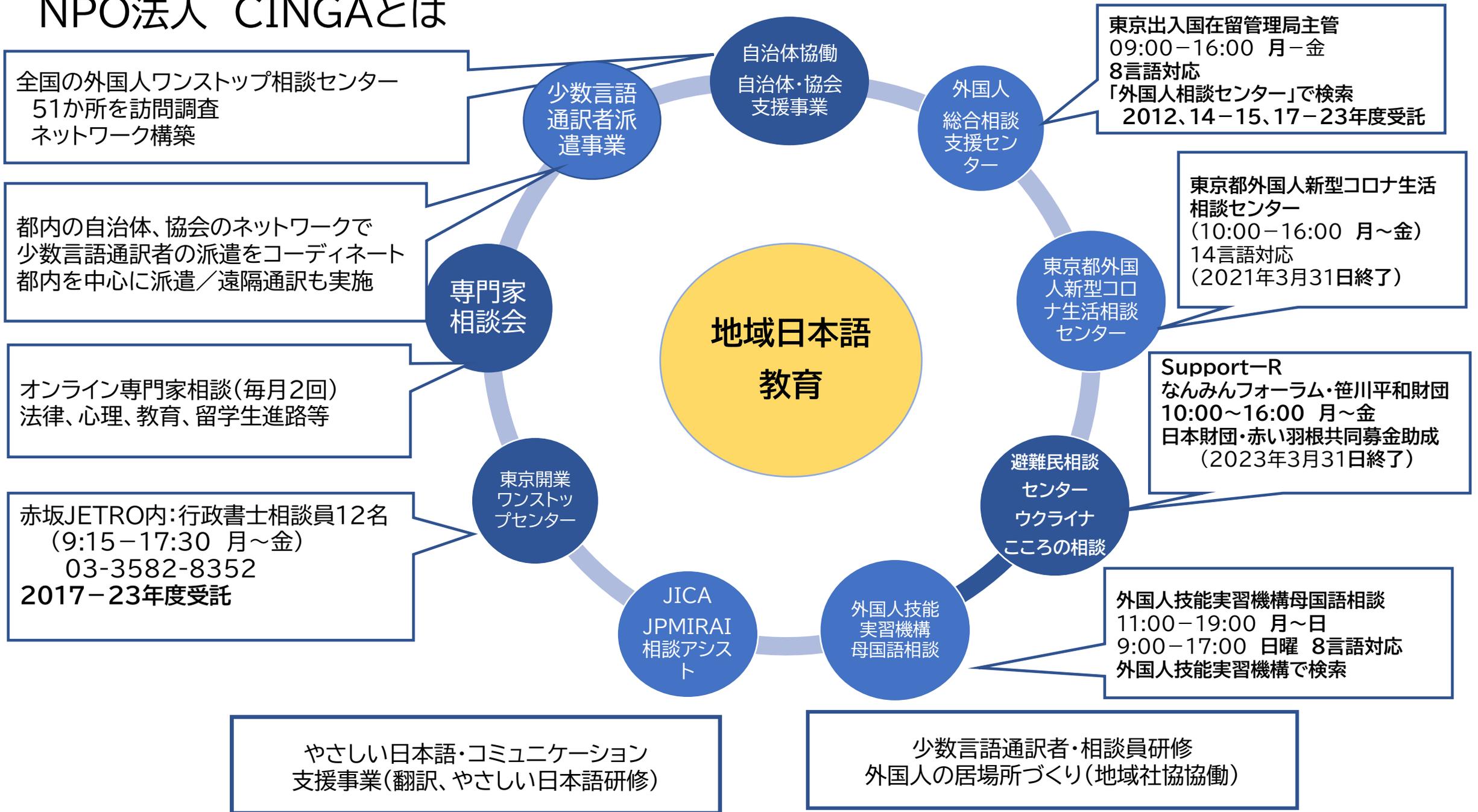
日本語教師、メディア関係者、協会職員などが専門性を活かして市民活動を行っています。

■会員数47名、職員数(非常勤含む)58名、 2024年度事業予算 2億2000万円

■東京都千代田区神田神保町2-3神田古書センタービル6F 03-6261-6225



NPO法人 CINGAとは



事業概要

①事業基盤となる外国ルーツの若者が働くためのサポートセンター事業

外国ルーツの若者本人からの相談だけではなく彼らを取り巻く人々や組織（保護者、教師、ケースワーカー、社会福祉協議会職員、民生児童委員、若者サポートステーション職員、子ども食堂関係者など）や企業からの相談にも広く対応します。そのため相談コーディネーターとして行政書士、社会保険労務士などの専門職コーディネーターや外国ルーツのコーディネーターを配置し、どこからでも使えるオンライン通訳も提供します。

②アウトリーチ事業（外国ルーツのコーディネーターによるエスニックコミュニティへの情報提供、教員等との連携、専門家による企業研修など）

アウトリーチ型の情報提供・研修事業では、外国ルーツのコーディネーターが関係するエスニックコミュニティに働きかけ、本人や保護者に対して日本の制度や支援の仕組みなどを丁寧に情報提供を行います。また、働き始めた若者たちが働き続けることができるように企業に対しても専門職コーディネーターが間に入り現場研修などのサポートを行います。同様に学校や教員との協力事業も実施します

③全国で個別に行われている外国ルーツの若者の就労支援プログラムの後方支援事業

全国で展開されている外国ルーツの若者の就労支援事業実施団体が活動するときに必要な資源や情報を提供します。その一つとして、多言語通訳が必要な時にいつでも提供できるオンライン通訳サービスや、弁護士や行政書士による専門家相談、また、地域の国際交流協会や社会福祉協議会、行政など関係者への橋渡しやその地域で伴走支援を期待できそうな地域日本語教室などメンバーとのよいタイミングでのミーティングの実施など支援者を支援するための調整業務を行います。

事業構造と成果

- ・ 160人（外国ツールで就労ができた若者：60人
子どもの就労を通してエンパワーメントされる保護者や家族：100人）
- ・ 400人（外国ルーツの若者を支援をしている人々）

エスニック
コミュニティ

子ども食堂など
地域資源

教職員・企業
向け事業

②アウトリーチ事業

③後方支援事業
(通訳・専門家対応)

①事業基盤となる外国ルーツの若者が働くためのサポートセンター

外国ルーツの若者が就労するために公正な支援を受けられる社会環境を作っていきます。